

## 2011年度 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2012年4月27日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2011年度決算 概要

FUJIFILM

### 2011年度決算 概況

- 為替の円高影響
- 東日本大震災の影響
- タイの洪水影響による販売機会減少・原価アップ
- 銀やアルミなどの原材料価格の高騰
- 欧州の景気悪化による需要減
- 液晶テレビ市場の需要落ち込みによるフラットパネルディスプレイ材料の需要減

様々な外部環境の影響を受け、減収減益。

## 2011年度 連結業績 (2011年4月~2012年3月)

(単位:億円)

	第4四半期		通期		対前年度(通期)
	2010年度	2011年度	2010年度	2011年度	
売上高	5,654 100.0%	5,768 100.0%	22,171 100.0%	21,953 100.0%	-218 -1.0%
営業利益	139 2.5%	273 4.7%	1,364 6.2%	1,129 5.1%	-235 -17.2%
税金等調整前 当期純利益	80 1.4%	315 5.5%	1,171 5.3%	892 4.1%	-279 -23.8%
当社株主帰属 当期純利益	55 1.0%	201 3.5%	639 2.9%	438 2.0%	-201 -31.5%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	11.31円	41.65円	131.30円	90.84円	-40.46円
為替 :米ドル	82円	79円	86円	79円	-7円
:ユーロ	113円	104円	113円	109円	-4円

3

## 営業利益 増減要因

(単位:億円)

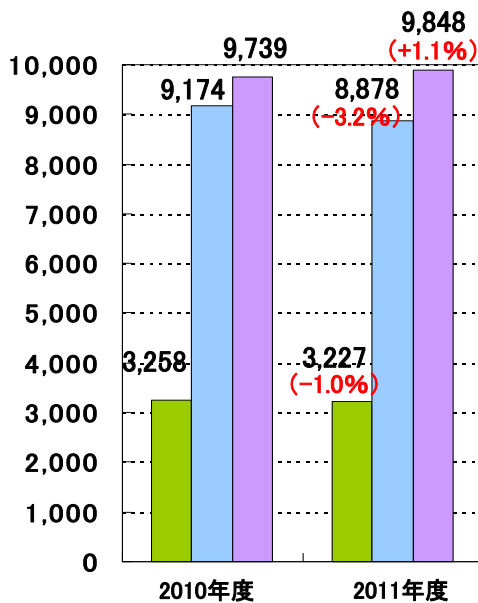
2010年度	2011年度			
	為替 影響	原材料 価格高騰	販売増減 など	実績
1,364	-99	-200	64	1,129

	2010年度(平均)	2011年度(平均)	対前年度	
為替				
米ドル	86円	79円	-7円	(-8.1%)
ユーロ	113円	109円	-4円	(-3.5%)
原材料				
銀	59,000円/Kg	90,000円/Kg	+31,000円	(+52.5%)

4

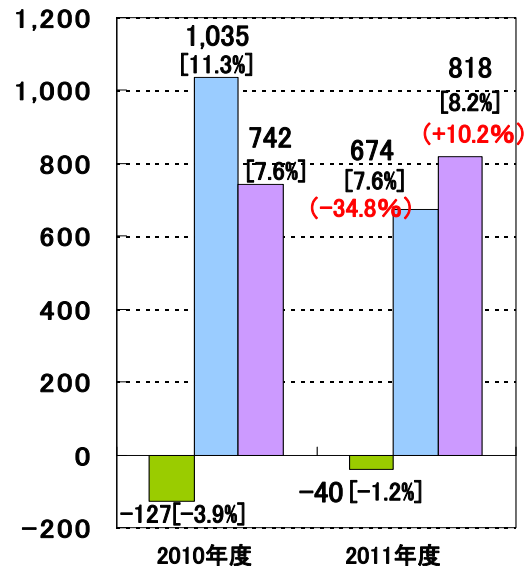
# 通期 セグメント別：連結売上高／営業利益

## 売上高



単位：億円  
 [ ]：営業利益率  
 ( )：前年比

## 営業利益



■ イメージング ソリューション   ■ インフォメーション ソリューション   ■ ドキュメント ソリューション

\* セグメント間取引消去後

# セグメント別 概況

## ■ イメージング ソリューション

- ・フォトイメージングのカラーペーパーが販売好調
- ・デジタルカメラの販売がハイエンドを中心に好調で売上増



FUJIFILM X-Pro1

FUJIFILM X100

FUJIFILM X10

FUJIFILM X-S1



原材料価格の高騰や円高・タイの洪水影響など  
 厳しい事業環境だったものの、  
 部門全体で損益は改善

## セグメント別 概況

### ■ インフォメーション ソリューション

- ・フラットパネルディスプレイ材料事業は、液晶テレビの需要減等により売上減
- ・メディカルシステム・ライフサイエンス分野では、医用画像情報ネットワークシステムや小型FCR、内視鏡の販売が好調に推移。  
化粧品も「アスタリフト」ベースメイクシリーズを発売し売上増加
- ・記録メディア、電子材料の売上も好調



外部環境の影響による主要事業の不振で  
部門全体で減収減益

## セグメント別 概況

### ■ ドキュメント ソリューション

- ・為替の円高、欧州の景気悪化、タイの洪水影響などがあったものの、アジア・オセアニア地域で売上が好調だったことなどにより、売上増加
- ・国内のコピー枚数は、通期で増加
- ・グローバルサービスは、国内及びアジア・オセアニアで売上が好調



様々な外部環境のマイナス影響を受けたものの  
増収増益

## 連結貸借対照表

(単位:億円)

	10年度末	11年度末	対前年度
現金 及び現金同等物	3,131	2,351	-780
受取債権	5,022	5,565	+543
棚卸資産	3,422	3,780	+358
有価証券 その他流動資産	1,533	1,524	-9
流動資産計	13,108	13,220	+112
有形固定資産	5,641	5,539	-102
営業権	3,444	3,935	+491
投資有価証券 その他資産	4,895	4,703	-192
固定資産計	13,980	14,177	+197
資産合計	27,088	27,397	+309

	10年度末	11年度末	対前年度
長短社債 及び借入金	1,896	1,989	+93
支払債務	2,614	2,584	-30
その他流動 固定負債	4,069	4,259	+190
負債計	8,579	8,832	+253
株主資本計	17,225	17,218	-7
非支配持分	1,284	1,347	+63
純資産計	18,509	18,565	+56
負債・純資産 合計	27,088	27,397	+309

(単位:円)

期末日為替レート	10年度末	11年度末
米ドル	83	82
ユーロ	118	110

9

## キャッシュフロー

(単位:億円)

	2010年度	2011年度
当期純利益	728	570
減価償却費	1,571	1,478
受取債権の増(-)減(+)	-141	-503
棚卸資産の増(-)減(+)	-382	-245
営業債務の増(+)-減(-)	12	-54
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	-154	-223
その他	360	328
営業活動によるCF	1,994	1,351
設備投資	-961	-1,008
ソフトウェアの購入	-181	-210
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	293	254
その他	-459	-895
投資活動によるCF	-1,308	-1,859
フリーキャッシュフロー	686	-508
営業活動によるCF+設備投資	1,033	343

10

2011年度 決算説明会

## 2012年度 連結業績予想

11

2012年度 連結業績予想

## 2012年度 経済環境の見通しと業績予想 (2012年4月27日時点)

- 欧州の景気低迷は続き、世界経済の先行きは不透明感が増す一方、中国その他新興国では堅調な成長が続く見込み
- ドル、ユーロ、およびその他ローカル通貨の円高傾向は継続
- 銀価格などの原材料価格も、高水準で引き続き推移



厳しい経済環境は続くが、既存事業の強化を図り  
売上高 2兆3,700億円、営業利益1,400億円  
の増収増益を目指しつつ、  
中期経営計画「VISION80」で策定した戦略に基づき、  
中長期的に成長をはかる

12

**2012年度 VISION80に基づく施策** (2012年4月27日時点)**高機能材料**

- フラットパネルディスプレイ材料分野で、WVなどの得意分野での売上確保と、TACの薄手化対応やVA拡販によるシェア拡大
- 独自の技術を活かした新製品の市場投入・拡販  
タッチパネル用のセンサーフィルム  
太陽電池向けのバックシート用PETフィルム
- 販売好調の電子材料をより一層拡販  
ArF最先端フォトレジスト  
CMPスラリー

13

**2012年度 VISION80に基づく施策** (2012年4月27日時点)**ヘルスケア**

- 「診断」領域  
DRシステムの拡販とネットワークビジネスの拡大  
医療機器の中国への生産移管推進などによるコスト競争力の強化  
ソノサイト社における携帯型超音波診断装置の販売拡大
- 「予防」領域  
化粧品などのラインアップ拡充と、中国や東南アジアに加え、欧州など海外展開の加速
- 「治療」領域  
既存薬の売上増加  
承認申請中の「T-705」「T-614」の上市に期待

14

## 2012年度 VISION80に基づく施策 (2012年4月27日時点)

### ドキュメント

2013年度の営業利益率10%以上の達成を目指し取り組む

- ・ 成長領域であるサービス事業の強化、及びアジア・中国での拡販
- ・ 競争力の高い商品の拡販によるシェア拡大  
ApeosPort-IV/DocuCentre-IV シリーズなど
- ・ 継続的な企業体質の強化による収益力の向上

## 2012年度 連結業績予想 (2012年4月27日時点)

(単位:億円)

	2011年度	2012年度(予想)	対前年度
売上高	21,953 100.0%	23,700 100.0%	1,747 +8.0%
営業利益	1,129 5.1%	1,400 5.9%	271 +24.0%
税金等調整前 当期純利益	892 4.1%	1,350 5.7%	458 +51.4%
当社株主帰属 当期純利益	438 2.0%	650 2.7%	212 +48.5%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	90.84円	134.94円	+44.10円
為替 :米ドル	79円	78円	-1円
:ユーロ	109円	103円	-6円

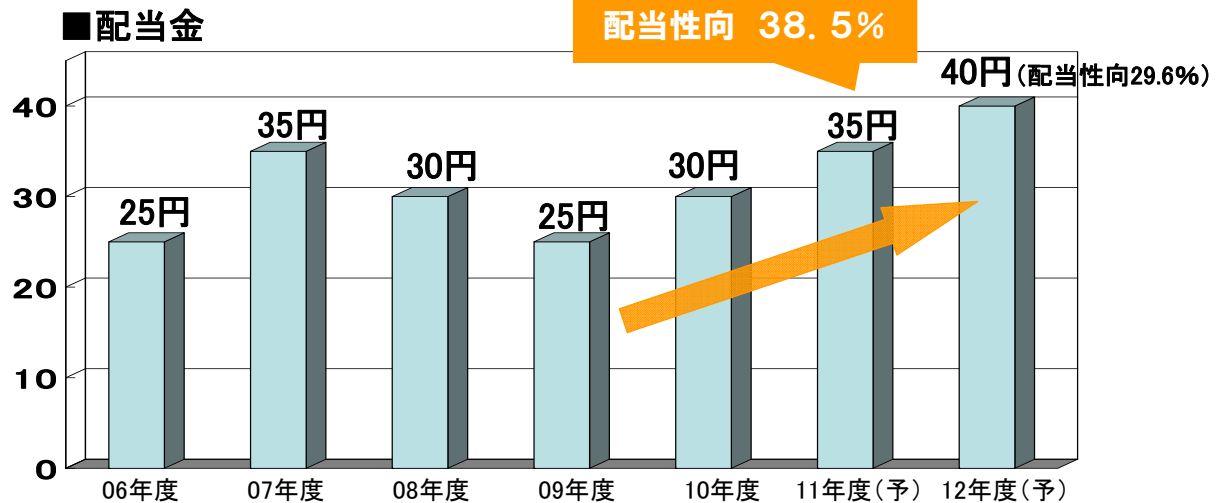
\* 2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円



# 株主還元

## 株主還元方針

- ・ 今後は、配当性向を25%以上に設定
- ・ 自己株式取得は、キャッシュフローを勘案し、機動的に実施



# FUJIFILM

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
 最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
 社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
 健康増進、環境保持に貢献し、  
 人々のクオリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>

## 2011年度 決算説明会

## 参考資料

19

## セグメント別 事業環境・実績

## 2011年度 セグメント別 連結業績

## ■ イメージング ソリューション

単位: 億円

売上高	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
フォトイメージング	456	2,115	463	2,020	-95 (-4.5%)
電子映像	229	1,143	276	1,207	64 (+5.6%)
合計	685	3,258	739	3,227	-31 (-1.0%)

ご参考: 為替影響を除いた部門全体売上高: 対前年度+3.3%

単位: 億円

営業利益 [営業利益率]	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
イメージング ソリューション	-164 [-23.8%]	-127 [-3.9%]	-2 [-0.2%]	-40 [-1.2%]	+87

\*セグメント間取引消去後

20

## 2011年度 セグメント別 連結業績

## ■ イメージング ソリューション

## フォトイメージング

- カラーペーパーのシェア拡大やフォトブック等付加価値プリントの拡販により、売上が増加。
- 原材料(銀)価格の高騰により、利益圧迫。

## 電子映像

- 円高やタイ洪水の影響を受けたが、独自技術を活かした特徴あるハイエンドモデルを中心として販売が好調に推移し、平均販売単価が上昇、売上也増加。
- 総需が大幅に落ち込む中、当社の販売台数は前年比4%増の約1,170万台。
- 2011年3月に発売した高級コンパクトデジタルカメラ「FUJIFILM X100」を皮切りに、10月に「FUJIFILM X10」、12月に「FUJIFILM X-S1」と、プレミアムカメラ「Xシリーズ」を順次発売し、販売が好調に推移。
- 2012年2月には、最高峰の画質と質感を備えるレンズ交換式の「FUJIFILM X-Pro1」及び交換レンズ「フジノンXFレンズ」3種を発売。

21

## 2011年度 セグメント別 連結業績

## ■ インフォメーション ソリューション

単位:億円

売上高	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
メディカルシステム ライフサイエンス	847	2,677	935	2,920	+243 (+9.1%)
グラフィックシステム	608	2,383	584	2,319	-64 (-2.7%)
フラットパネル ディスプレイ	502	2,185	433	1,825	-360 (-16.5%)
記録メディア	123	441	130	483	+42 (+9.3%)
産業機材/電子材料他	226	832	208	808	-24 (-2.8%)
光学デバイス	150	656	123	523	-133 (-20.3%)
合計	2,456	9,174	2,413	8,878	-296 (-3.2%)

ご参考: 為替影響を除いた部門全体売上高: 対前年度-0.7%

単位:億円

営業利益 [営業利益率]	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
インフォメーション ソリューション	196 [8.0%]	1,035 [11.3%]	176 [7.3%]	674 [7.6%]	-361 (-34.8%)

\*セグメント間取引消去後

22

## 2011年度 セグメント別 連結業績

### ■ インフォメーション ソリューション

#### メディカルシステム・ライフサイエンス

##### 【メディカルシステム】

- ネットワークシステム分野の売上が増加。医療用画像情報ネットワークシステム「SYNAPSE」は国内約1,700の医療施設に導入されトップシェアを維持。
- 小型FCR「FCR PRIMA T」の販売が好調。
- 経鼻内視鏡や内視鏡情報管理システムの販売が好調。

##### 【医薬品】

- 医薬品は、「ゾシン」「オゼックス細粒」「ジェニナック」等の販売が好調に推移し、富山化学の売上が大幅に増加。
- 2011年3月に買収したバイオ医薬品受託製造2社の売上が好調に推移。
- 抗インフルエンザウイルス薬「T-705」国内製造販売承認申請中。

##### 【ライフサイエンス】

- 2011年9月に機能性化粧品「アスタリフト」のベースメイクシリーズを発売。またサプリメントの販促活動の積極的な展開により売上が増加。
- 海外では中国や東南アジアに加え、フランスでも販売開始。

23

## 2011年度 セグメント別 連結業績

#### フラットパネルディスプレイ材料

- 液晶テレビの需要が旺盛であった前年比で売上は減少。
- 大型液晶テレビ向け「VA用フィルム」の需要拡大に対応するため、超広幅フィルムの生産ラインを新たに稼動。VA用フィルムの販売は好調。

#### グラフィックシステム

- 円高や震災に伴う需要減により売上減。
- 成長分野のデジタルプリンティングの分野でラインアップを充実。

#### 記録メディア

- BaFe磁性体(バリウムフェライト)を使用したデータバックアップ用テープなどの販売が好調で売上が増加。

#### 産業機材/電子材料 他

- 工業用X線フィルムの販売が好調に推移。
- ArF液浸レジストなど販売が好調で売上が増加。

#### 光学デバイス

- テレビカメラ用レンズは販売好調だったが、携帯電話用レンズの販売が減少し、売上減。

24

## 2011年度 セグメント別 連結業績

## ■ ドキュメント ソリューション

単位:億円

売上高	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
オフィスプロダクト	1,299	5,090	1,317	5,109	+19 (+0.4%)
オフィスプリンター	417	1,663	413	1,590	-73 (-4.4%)
プロダクションサービス	336	1,297	351	1,294	-3 (-0.3%)
グローバルサービス	244	881	297	996	+115 (+13.1%)
その他	217	808	238	859	+51 (+6.3%)
合計	2,513	9,739	2,616	9,848	+109 (+1.1%)

ご参考: 為替影響を除いた部門全体売上高: 対前年度+2.6%

単位:億円

営業利益 [営業利益率]	2010年度		2011年度		
	第4四半期	通期	第4四半期	通期	対前年度(通期)
ドキュメントソリューション	186 [7.4%]	742 [7.6%]	205 [7.7%]	818 [8.2%]	+76 (+10.2%)

\*セグメント間取引消去後

25

## 2011年度 セグメント別 連結業績

## ■ ドキュメント ソリューション

## オフィスプロダクト

- 国内は、カラー・モノクロ機ともに販売台数が増加し、コピー枚数も増加。
- アジア・オセアニア地域での販売台数、及び、米国ゼロックス社向け出荷台数において、カラー機・モノクロ機ともに増加。

## オフィスプリンター

- 国内は、新商品の販売好調により、カラー機・モノクロ機ともに販売台数が大幅に増加。
- 米国ゼロックス社向けは、カラー機・モノクロ機ともに出荷台数が増加。

## プロダクションサービス

- 国内は、ライトプロダクション・カラーシステムやエントリープロダクション・カラーシステムの販売好調により、販売台数が増加。
- アジア・オセアニア地域は、エントリープロダクション・カラーシステムの販売好調により、販売台数が増加。

## グローバルサービス

- 国内、アジア・オセアニア地域、ともに売上が増加。企業全体の出力環境を包括的にマネジメントする「エンタープライズ・プリント・サービス」の提供を日本およびアジア・オセアニア地域で開始。

26

## 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

	2010年度		2011年度		
	構成比(%)		構成比(%)		対前年度
日本	46.7%	10,348	46.2%	10,127	-221 (-2.1%)
米州	16.6%	3,682	16.7%	3,676	-6 (-0.2%)
欧州	11.7%	2,606	12.0%	2,627	+21 (+0.8%)
内、中国	7.8%	1,731	9.3%	2,052	+321 (+18.5%)
アジア他	25.0%	5,535	25.1%	5,523	-12 (-0.2%)
海外	53.3%	11,823	53.8%	11,826	+3 (+0.0%)
合計	100.0%	22,171	100.0%	21,953	-218 (-1.0%)

27

## 設備投資、減価償却費

(単位:億円)

	2009年度		2010年度		2011年度		2012年度
	4Q	年度	4Q	年度	4Q	年度	予想
イメージング	28	91	25	81	36	92	-
インフォメーション	82	285	207	618	153	598	-
ドキュメント	159	403	84	195	82	193	-
コーポレート	0	0	-12	5	6	26	-
設備投資 ※	269	779	304	899	277	909	1,100
イメージング	57	219	30	101	36	108	-
インフォメーション	253	991	220	774	212	763	-
ドキュメント	203	736	161	658	142	575	-
コーポレート	1	5	10	38	9	32	-
減価償却費	514	1,951	421	1,571	399	1,478	1,570
有形固定資産の 減価償却費 ※	371	1,351	296	1,066	271	966	1,100

※ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

28

## 研究開発費、販売費および一般管理費

(単位:億円)

	2010年度		2011年度	
	4Q	年度	4Q	年度
イメージング	25	76	15	72
インフォメーション	164	697	199	769
ドキュメント	162	654	173	641
コーポレート	62	226	86	252
研究開発費	413	1,653	473	1,734
<売上高比>	7.3%	7.5%	8.2%	7.9%
販売費及び一般管理費	1,453	5,706	1,545	5,814
<売上高比>	25.7%	25.7%	26.8%	26.5%

29

## 為替、為替感応度、人員

### 為替

(単位:円)

	2010年度					2011年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
米ドル	92	86	83	87	86	82	78	77	79	79
ユーロ	117	111	112	113	113	117	110	104	104	109

\* 2012年度 営業利益 為替感応度 米ドル:14億円、ユーロ9億円

### 人員

(単位:人)

	2011.3末	2011.6末	2011.9末	2011.12末	2012.3末
連結	78,862	79,367	81,387	81,316	81,691

30

## 富山化学工業(株) 新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域*	開発段階					剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III	申請	
T-705	抗ウイルス剤	日本						経口
		米国						
T-614	抗リウマチ剤	日本						経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本						注射**
		米国						経口/注射
		欧州						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本						経口
		海外						
T-2307	抗真菌剤	米国						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本						経口

\* 海外については富士フィルムグループとして開発

\*\* 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてP IIIが終了し、2011年3月30日に製造販売承認申請済み。

## トピックス

### 協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社 設立

バイオ医薬分野の強化に向け、協和発酵キリン株式会社とバイオシミラーの合併会社、「協和キリン富士フィルムバイオロジクス株式会社」を2012年3月に設立。

### 超音波診断装置メーカーSonoSiteを完全子会社化

米国携帯型超音波診断装置メーカーSonoSiteを公開買付けにより買収し、2012年3月に完全子会社化。同時に、メディカルシステム事業部内に超音波グループを設立。

SonoSiteの得意とする「現場処置用の製品(POC)」のさらなる成長に加え、富士フィルムの高画質技術を搭載した「現場診断用の製品」を、SonoSiteの生産・販売基盤を活用して立ち上げ、超音波ビジネスを拡大する。